

- ・ 目的
- ・ 実験の原理
- ・ 実験方法
- ・ 結果
- ・ 考察

仮説-実験-評価というサイクルをまわします。

<目的>

何を知るためにその実験をするのか

先行研究で何がどこまで分かっている、その上で自分がどのような新しい仮説を提示し、どのように検証を行うのか。

<実験の原理>

その実験を行うにあたって前提となっている自然現象についての原理・理論、測定法や装置の作動原理などをまとめます。

<実験方法>

実際にどのような実験を行ったかの手順とその条件を記述します。

後から他の人が見て同じ実験を再現できることが重要です。

<結果>

表やグラフ、図、写真などを使って、実験結果を客観的に報告します。

グラフ・表の書き方や図番号にもルールがあるのでそれに沿って作成します。

<考察>

実験の結果得られたデータを適切に解釈し、そこから導かれる結論が初めに提示した仮説を裏付けているかを検証し、目的を達したかを評価します。

客観的な事実と推論が混ざらないようにし、引用については引用元を明記する。